

第47回 教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2014年1月13日(月) 10:30-16:20 都立両国高校

2 参加者

矢島ミ、山下、瀧上、宮嶋、南島、飯田、根本、川村、上村

3 前回議事録の確認

誤字について一部修正した他は、議事録案の通りに承認された。

4 新委員の承認

世話人会から西武文理高校・小林則彦氏(連合会員、埼玉)を新委員として推薦する提案がなされ、了承された。

5 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審

・次期改訂についての新聞報道(12/29)があったことが紹介された。

○理数系学会・他研究団体等

・東大地震研究所研究集会が12/26,27に行われ、教科書執筆に関する実情等が紹介され、有意義な集会であったことが報告された。また、各講演内容を地震学会の「地震モノグラフ」として刊行される予定であることが紹介された。

・理数系学会連絡協議会が1/9に開催され、到達度テストに関して、理科・社会科も実施するよう、中教審に提言を出す必要があるとの見解がまとまったことが報告された。

・CSERS(教科理科関連学会連絡協議会)が、次期学習指導要領改訂を睨んで総合的な必修理科科目を想定したシンポジウムを5/17に開催する予定であることが報告された。

○教育問題検討委員会関連の報告事項

・地学教育の実情に関する文科省への提言について、2/1の理事会で承認を受け、文科省へ提出する予定であることが報告された。

・連合が教員免許状更新講習を開催する件について、次年度予算にその調査費が計上される予定であることが報告された。

○その他

・第6回国際地学オリンピックの第一次予選が行われ1462名が受験し、近日中に結果が公表される予定であることが報告された。

・理振法制定60周年記念行事が行われ、地学教育学会からも挨拶があったことが報告された。

6 協議

(1) 連合大会パブリックセッションでの提案に向けた科目検討

A案(現行の基礎科目を基盤にした選択必修科目)、B案(「教養理科」を基盤にした総合的な必修科目)C案(安全・防災教育を内容再編による新教科目)ごとにWGを立ち上げ、WGごとの検討を行った。

(2) 今後の検討日程

連合大会での提案に向けて、下記のような検討日程を進めることを確認した。

1月：発表者（予稿執筆者）の決定

経過説明：宮嶋 A案：小尾（依頼中） B案：山下 C案：根本 招待：未定

2月：2/12までに各WGの予稿を投稿（投稿システム）、2/23にWG（小委員会）開催

3月：3/23前後にWG小委員会開催

4月：4/15までに詳細な予稿原稿を完成し、直ちに連合HPにアップする

（3）発表内容案について

各WGとも大項目、中項目、小項目に含まれるキーワードを表として提案する。なお、その際に科目内容の提案の前提となる新しい教育目標を明記することを確認した。

（4）各種働きかけの進捗状況について

・教員採用及び地学開講の各都道府県教委への要望について、3月理事会にて実施の承認を受け、各都道府県に所属する教育問題検討委員に、提言を各都道府県教委に持参してもらうよう依頼することを確認した。

・教科書用語の統一について、教育問題検討委員会内にWGを立ち上げ、加盟学協会に専門用語を教育用語、研究用語に区別してもらうよう依頼を行うことを確認した。

7 次回小委員会（WG）について

次回小委員会は2/23（日）に私立海城高校を会場に行うことを決定した。なお、次々回の小委員会は、3/23を候補日として、各委員に都合をメールにて尋ね、調整することを確認した。